伊予市ふるさとワーキングホリデー

社会実験業務

２０２４

報告書

主催〇伊予市
運営〇一般社団法人いよのミライカイギ
運営パートナー〇双海最高カンパニー株式会社

愛媛新聞　（第３種郵便物認可）

かんきつ畑で、園主井上さん（右）に教わりながら働く稲葉さん

仕事に余暇に 地域満喫

若い世代対象 伊予市が「ふるさとワーホリ」

都市部の若者が国内の地域で仕事をしながら余暇を楽しむ「ふるさとワーキングホリデー」に伊予市が取り組んでいる。県外の大学生が約10日間滞在し、地域ならではの仕事を体験しながら、自由時間で住民との交流や観光を楽しんでいる。

県外大学生17人 農業体験や観光・交流

「ふるさとワーキングホリデー」で伊予市に滞在している５人の学生

事業所の人材確保の一助にし、若い世代の交流人口の創出にもつなげようと、総務省の制度を活用して初めて実施。同市で移住サポートセンターを運営する「いよのミライカイギ」に委託し、7月下旬から9月上旬にかけ、3期にわたり計17人を受け入れた。

8月27日～9月6日の第3期は、稲葉桜空さん(20)＝宇都宮大2年、田屋杏佳さん(21)＝静岡大4年、伊藤花純さん(20)＝大阪公立大3年、光成里樹さん(21)＝明治大3年、木原陵陽さん(18)＝静岡県立大1年＝の5人が参加。市内の食品会社や道の駅、カフェなどで原則5日間働く。

伊予市双海町高岸の井上健さん(42)が運営する「伊予侍ファーム」(井上農園)の同市下三谷のかんきつ農園では、稲葉さんが愛媛果試第28号（紅まどんな）を栽培している約20㌃で作業。井上さんに教わりながら、枝を支えるために竹の支柱を結び付けていった。

昨年JR下灘駅を訪れて景色の美しさが印象に残った稲葉さんは、農業を通じたまちづくりを勉強したいと伊予市を選んだ。余暇では内子町などを観光し、地元でまちづくりに取り組む住民に話を聞いて過ごしたといい、「地域の人たちが温かく迎えてくれ、まちづくりや農業の勉強ができて充実している」と笑顔で語った。

3期すべてで計4人の学生を受け入れた井上さんは「『またここに戻ってきたい』と言われるのがうれしい。移住してくれるのが一番だが、そうでなくても、また気軽に遊びに来てもらいたい」と話した。

（杉本賢司）

９月５日(木)付　愛媛新聞

総務省事業

ふるさとワーキングホリデーとは

総務省により2017年1月からスタートした制度です。都市部に暮らす学生などの若者が、一定期間地方に滞在し、働いて収入を得ながら地域住民との交流や学びの場などを通じて地域での暮らしを体感します。

過去実績（全国）

（令和５年３月時点）

参加者	満足度	再訪意向
4,300人	91%	81%

７か年の参加者4,300人のうち約100人が定住(約2.4%)

三方良しのふるさとワーホリ

◎参加者の声（都市部の若者）

・これからの人生の選択肢が増えた
・繋がりができたことがとても大きい
・すごく歓迎されてまた来たいと思った
・ふだん出会えないような人たちと出会えた
・最高の毎日でした

※総務省ふるさとワーキングホリデーポータルサイトより抜き書き

◆事業目的(パーパス)

ふるさとワーホリに参加する若者たちはさまざまな思いを持って伊予市にやってきます。
この若者たちに、今後の人生の指針となる感動体験を与え、伊予市を「里帰り」できる場所にします。

伊予市を若者が闊歩する町に。

◎受け入れ先（企業、団体、農漁業従事者など）

新卒採用を見据えたインターン制度の導入、若者目線を知り事業の見直しを図ること、CSRへの取り組みをアピールできるなど、受け入れ先にとってもメリットの多い事業ですが、なにより都市部の若者との繋がりができることの魅力は計り知れません。

◎3万人が住み続けられるまちを目指す伊予市として

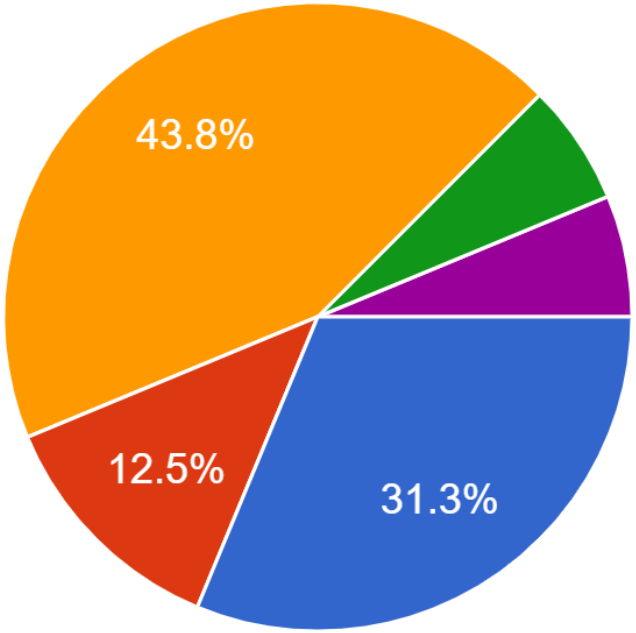
ふるさとワーホリは２週間以上(１か月程度まで)滞在することが求められており、これまでの関係人口づくりの取り組みに比べお互いの関係をより深く濃密に育む時間を持つことができます。ふるさとワーホリの導入によって、より絆の強い関係人口づくりを目指します。

※ふるさとワーホリはふるさとワーキングホリデーの略称（愛称）です。

ワーホリ参加者アンケート(到着時)

ワーホリをなにで知りましたか？

16 件の回答



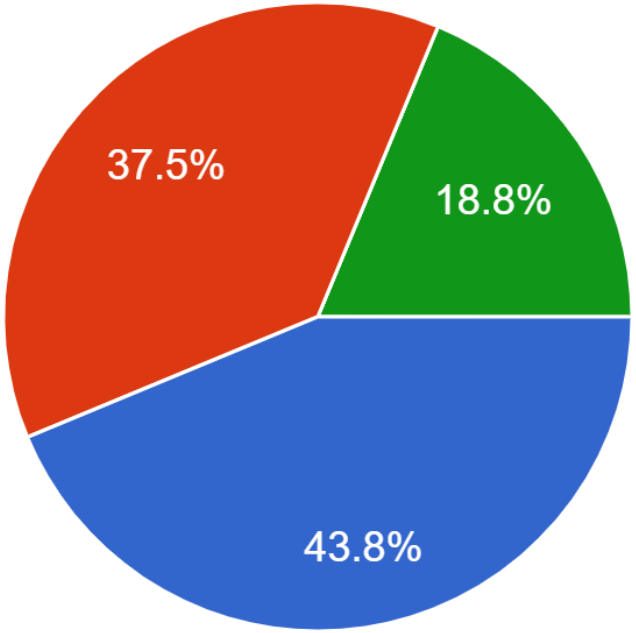
- ポータルサイト
- SNS
- 知人・友人から
- 学校の先生
- 大学の授業

知人や友人、 ＳＮＳ、授業、先生・・・
つまり「口コミ」で知り、
ポータルサイトを訪れるという流れ。

コミュ力が高く、アクティブに動く人たち。

伊予市を選んだのはなぜ？

16 件の回答



- 四国、愛媛県だったから
- 募集の告知が良かった
- やってみたい仕事があった
- 期間や条件が合っていた

四国は初めてという参加者が多い。
瀬戸内海や愛媛県をイメージ良く見ている。

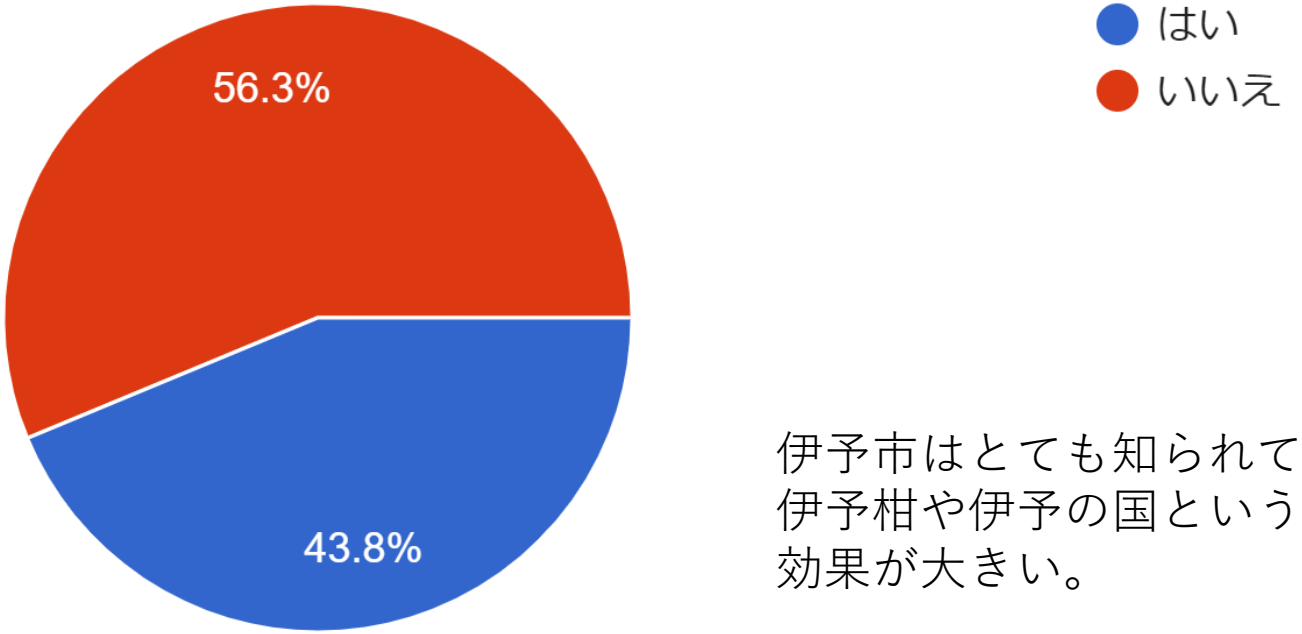
この段階では「仕事」より「行ってみたい」

ポータルサイトの募集告知が決め手になった
という声も多い。

人生は、
自分の手でつくる。
ワーホリ

伊予市を知っていましたか？

16 件の回答

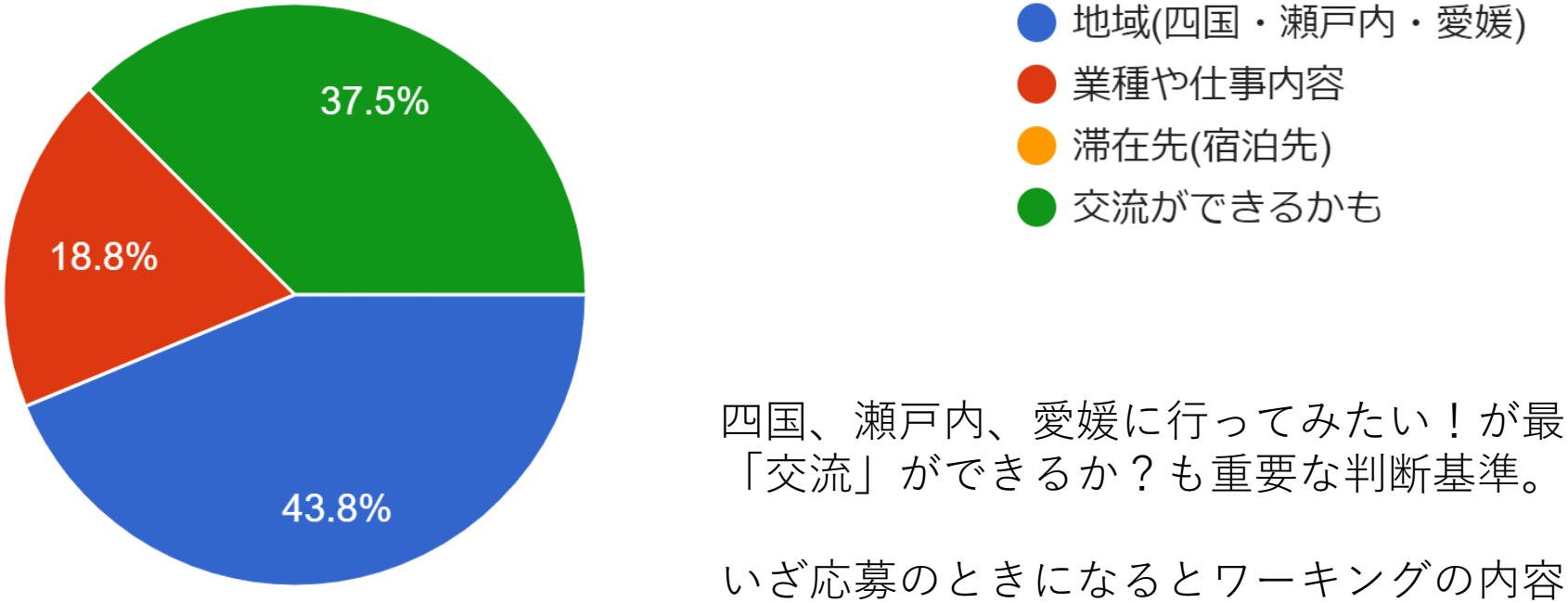


伊予市はとても知られている！と思いきや、
伊予柑や伊予の国というワードによる刷り込み
効果が大きい。

ただし再訪者も１７人中３人いて、
訪れてみてその魅力に引き込まれる人も
多いようだ。

応募にあたり重視したことは？

16 件の回答

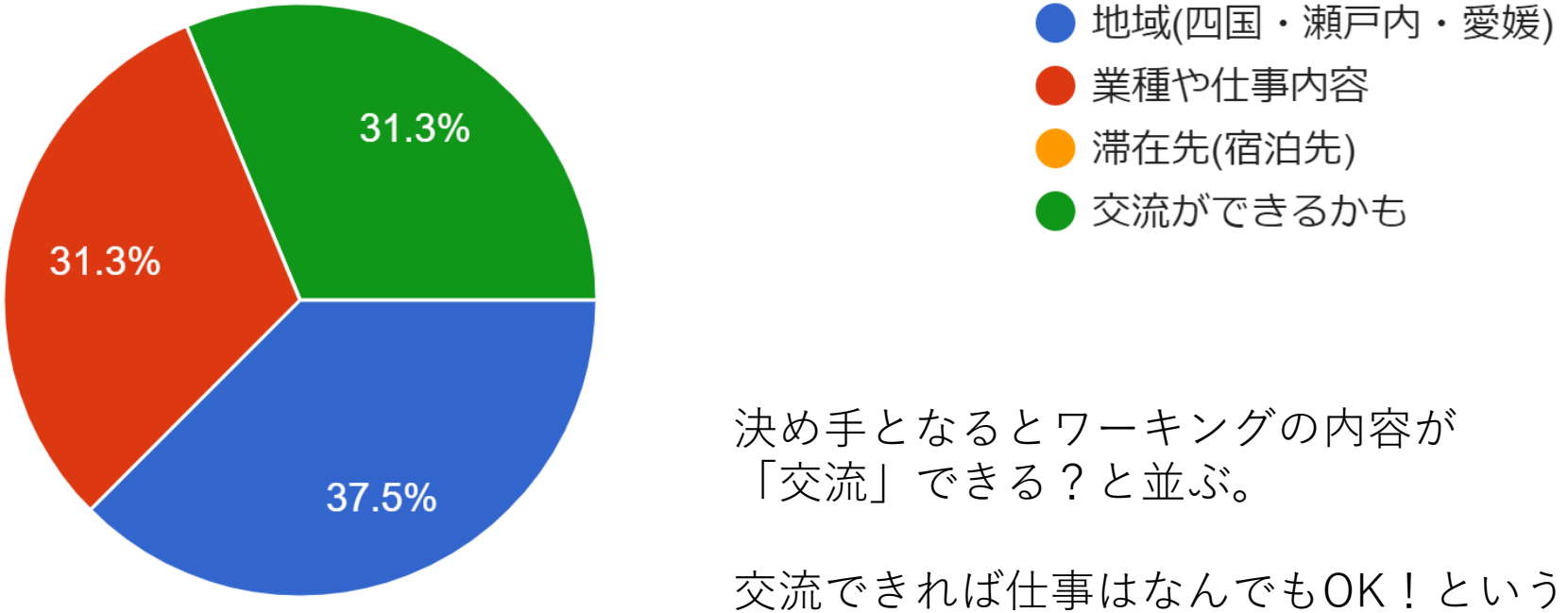


四国、瀬戸内、愛媛に行ってみたい！が最も多いが、
「交流」ができるか？も重要な判断基準。

いざ応募のときになるとワーキングの内容も
気になってくる。

応募の決め手になったのは？

16 件の回答

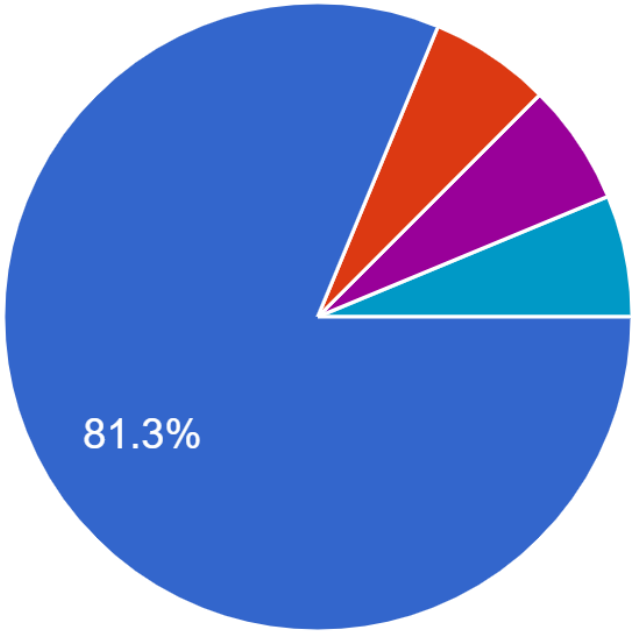


決め手となるとワーキングの内容が
「交流」できる？と並ぶ。

交流できれば仕事はなんでもOK！というタイプと、
農業や漁業、接客など、やってみたいを具体的に
持っている参加者とで二分している。

ホリデーをどう過ごしたいですか？

16 件の回答



- 自然のなかで過ごす(海山川など)
- 街中で過ごす(買い物、飲食など)
- 部屋でゆっくり過ごす
- 決めていない・分からない
- 色々な人と交流しながら過ごす(自然もたくさん感じたい)
- 愛媛の自然を感じながらゆっくり過ごしたいです！

自然豊かな環境に身を置いて過ごしたいが圧倒的。
いなかを満喫してみたいのは閉塞感の表れか。

海や夕焼け、里山の風景に惹かれる若者たち。

来る前の伊予市の印象を教えてください。

15 件の回答

〇瀬戸内なので温暖で、**伊予柑**のイメージが強かったです。
〇**伊予柑**の産地なのかなという印象。
〇**みかん畑**が広がった自然豊かな地域
〇**みかん**で有名で、自然豊かな印象

〇**海**の見える町
〇**海**の近くで夏らしいことができそう！
〇**海**でのんびり出来そう
〇**海**と夕焼けがすごく素敵！
〇**海**が近くて、山もあり、静かで穏やかなところ

〇**下灘駅**の景色がとても綺麗だなとおもいました

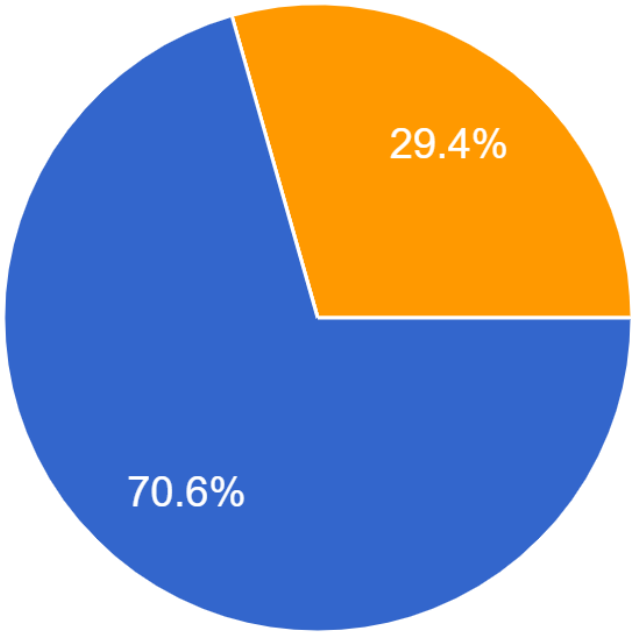
〇**夕日がきれい、みかん、下灘駅、予讃線**

※抜粋

ワーホリ参加者アンケート(終了時)

今回のプログラムの長さ(10泊11日)について

17 件の回答



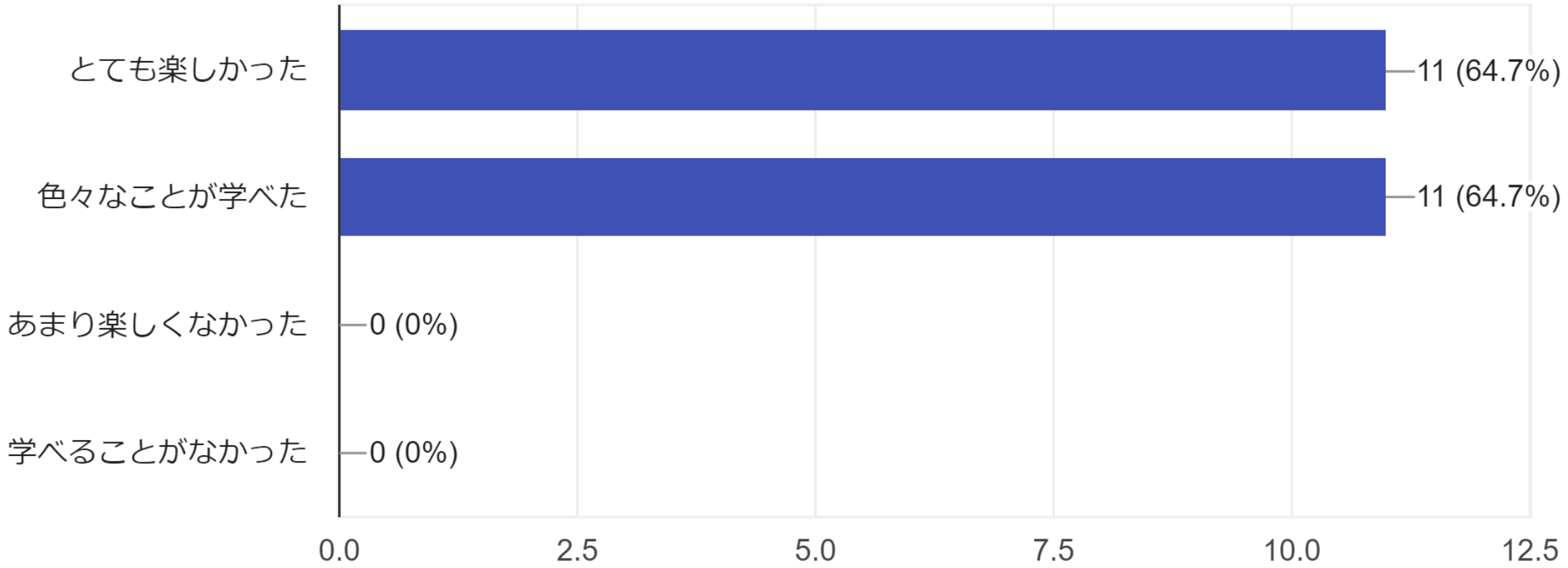
ちょうど良かった
長かった
短かった

ワーキング５日＋ホリデー５日の１０泊１１日に多くの参加者が満足している。

短かったと答える参加者も、やりたいことができなかったからではなく、
「仲間との楽しい時間をもっと！」過ごしたいと感じていたようだ。

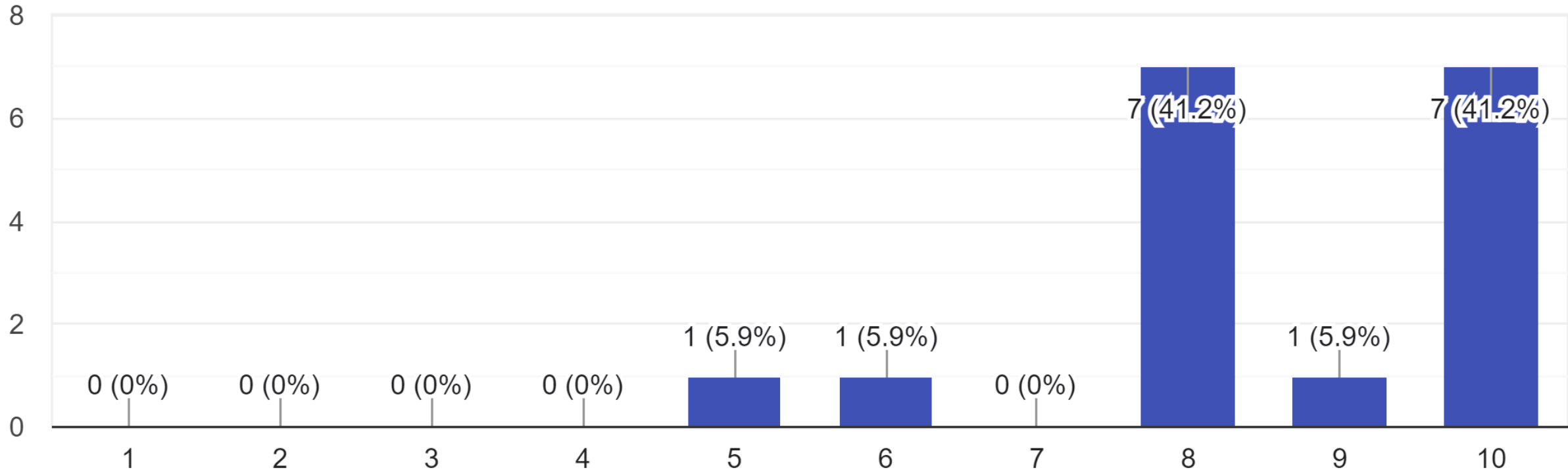
お仕事について

17 件の回答



お仕事の満足度は？

17 件の回答



お仕事についての感想や伝えたいことがあれば教えてください。

17 件の回答

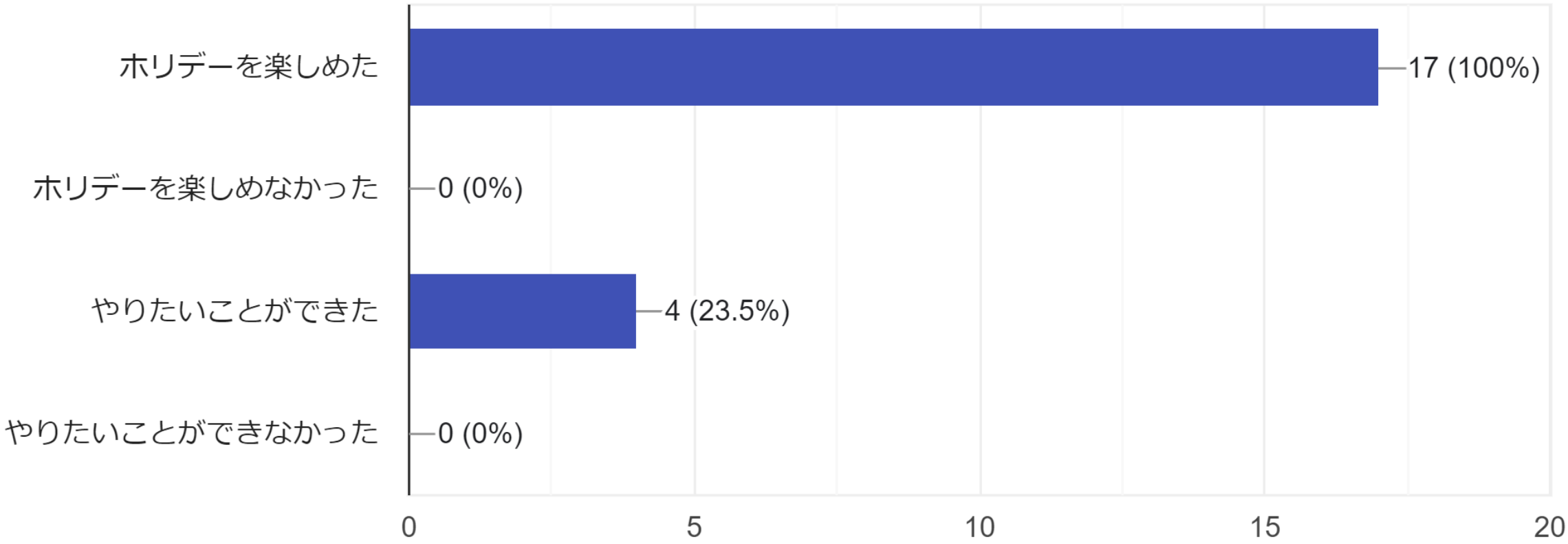
〇**とても優しく親切**で楽しく仕事をすることができました。
〇**とにかく優しくしてもらった**ので疲れませんでした。スタッフの皆さんが自分の子供に対して日々思っていることなど親視点の考えを聞けて面白かったです。
〇**みんな優しくて**あたたかくて至れりつくせりで孫みたいに扱ってくれて幸せすぎ！
〇質問すると丁寧にわかりやすく答えてくださったし、始めのうちは慣れていなくて作業が遅かったにも関わらず暖かく見守ってくださった。暑さもあって、体のことをとても気遣ってくださった。**とても良い就労先**だった。
〇覚えが遅かったり行動が遅かったりしてしまったのですが、**皆さんが優しく教えて**くださって助かりました…！
〇一緒に働いた方々はお子さんのいる主婦さんで、お仕事をしながら子育て、家事をすることに尊敬する部分がありました。**自分の将来を考えながら**働いていました。
〇自分が絶対に選ばないであろう仕事だったので最初は不安だったけど、パートの人やベトナム人の子達が**気さくに話しかけてくれた**おかげで楽しく仕事をできた。

●主に売店でのレジ作業だったということもあり、あまり自分から何かをすることなく終わってしまい、**すこし物足りなかった**部分があった。
●少し**就労時間が長い**ように感じた
●全く初めての内容だったので、最初の2日は覚えることで精一杯だったが、最後は作業スピードが上がり成長を感じた。個人的には**もう少し簡単な作業**だと、1日目からタスクをこなしやすかったと思う。

※抜粋

ホリデーについて

17 件の回答



ホリデーをどう過ごしましたか？

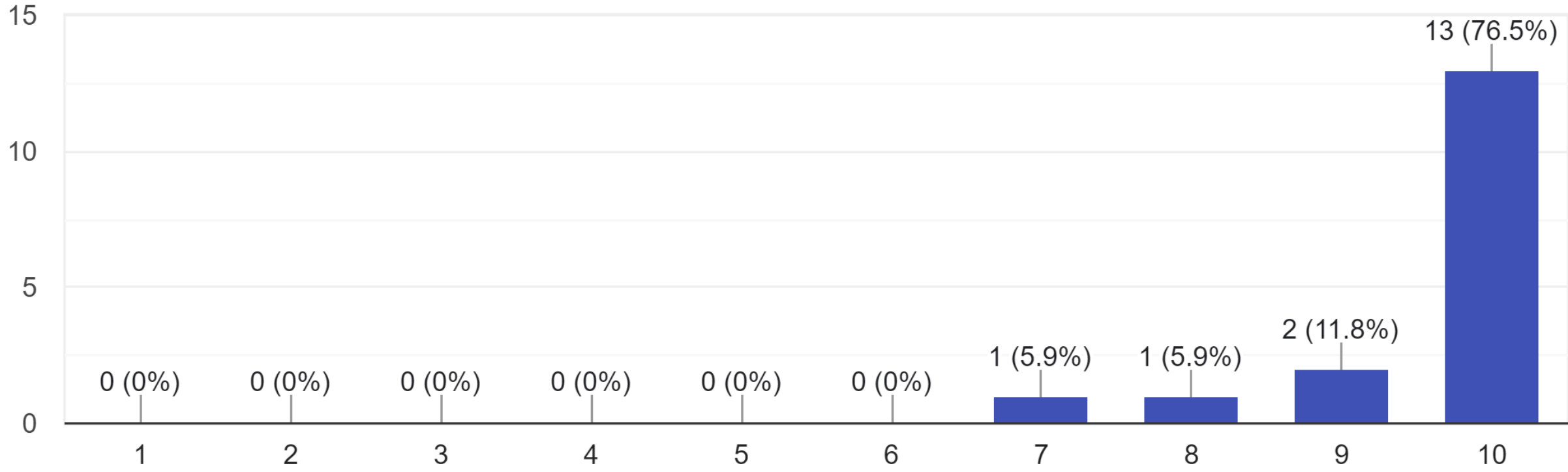
17 件の回答

〇友達と一緒に色々回った。海に入る、カフェに行く、部屋でゆっくり
〇海に入る、テントサウナ、みんなと料理など。
〇ホリデー1日目は一人で道後温泉に。道後ビールを一人で飲みました！
〇自動運転バスを使いUmimachiベーグルに行きました。たくさん買って満足！
〇メンバーと何気ない休日を過ごしました。
〇青島、潮風公園、松山、カフェ378、海に行きました。
〇トライアスロンのボランティア。パン屋を巡ったり、海に入ったりしました"
〇サンセットクルーズ、肝試し、海水浴、カフェ巡りなど、毎日外に出て活動し、
とても充実したホリデーを過ごすことができました。
〇**パラグライダー、かき氷、海に入る、鯛めし食べる、下灘駅に行く、トゥクトゥク乗る、シーサー作る、夜の海で星を見る、夕日を見る、三島神社行く、肝試し行く、クルーズに乗るなど**
〇誘ってくださったイベントにはほぼ全て参加するようにした。
〇双海、内子、大洲、八幡浜、下灘、四国カルスト、梼原
〇まちづくりのカリスマと出会う、お話を伺う、人間牧場に行く
〇**お仕事が終わってから、部屋でトランプをしたり、語り合ったり、海に夕日を見に行ったり、星を眺めたりした日常も、印象に残っているホリデーです。**

※抜粋

ホリデーの満足度は？

17 件の回答



ホリデーについての 感想や伝えたいことがあれば教えてください。

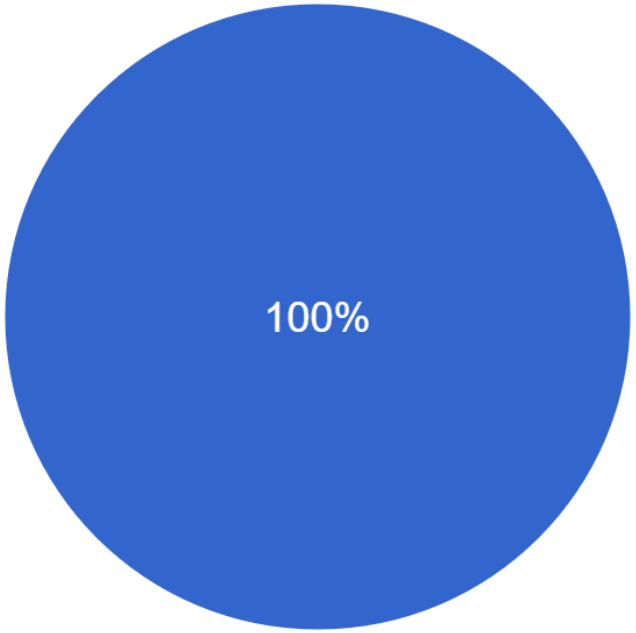
17 件の回答

〇楽しすぎた。
〇まず一番は海がきれいで毎日海を訪れました。波がなく心が落ち着いた気分になれました。都会であれば利便性がよく、時の流れが早く、食べる事も、出かける事も感動が薄れてしまいがちですが、ワーホリでは一つ一つの動作を大切にできたし、時間を大切に使えました。
〇皆で夜ご飯を食べた後に、家の前の海辺に寝転んで天の川とたくさんの星と流れ星を肉眼で見れたことはとっっても幸せでした。
〇ただ見て楽しんで回るのではなく、考えたくなることが多いホリデーでした。
〇**気の合う友達と**たくさんの時間一緒に過ごせて充実していた。
〇イベントを告知してくださったり、観光スポットを教えてくださったので、充実したホリデーにすることができた
〇シェアハウスでみんなと深く話せて新しい視点から自分を認識できました！
〇仲間と深い話をすることができ、ただの観光を楽しむだけでなく、みんなの考えや意見を話せたことが大変良かったと思う。
〇とにかくすごく楽しかったし、心踊るホリデーを過ごすことができました。
〇どこに行っても、時間の流れがゆっくりしていると感じた。

●**自由に使える自転車や車**があればもっとホリデーを楽しめるのかなと思った。
●仕事が昼から夜で他の**みんなと休みの時間が合いにくい**のが唯一不便だった。

他の参加者との関係は？

17 件の回答



- とても良かった
- 少し難しいところかあった
- かなり難しいところかあった

他の参加者との関係で伝えておきたいことがあれば教えてください

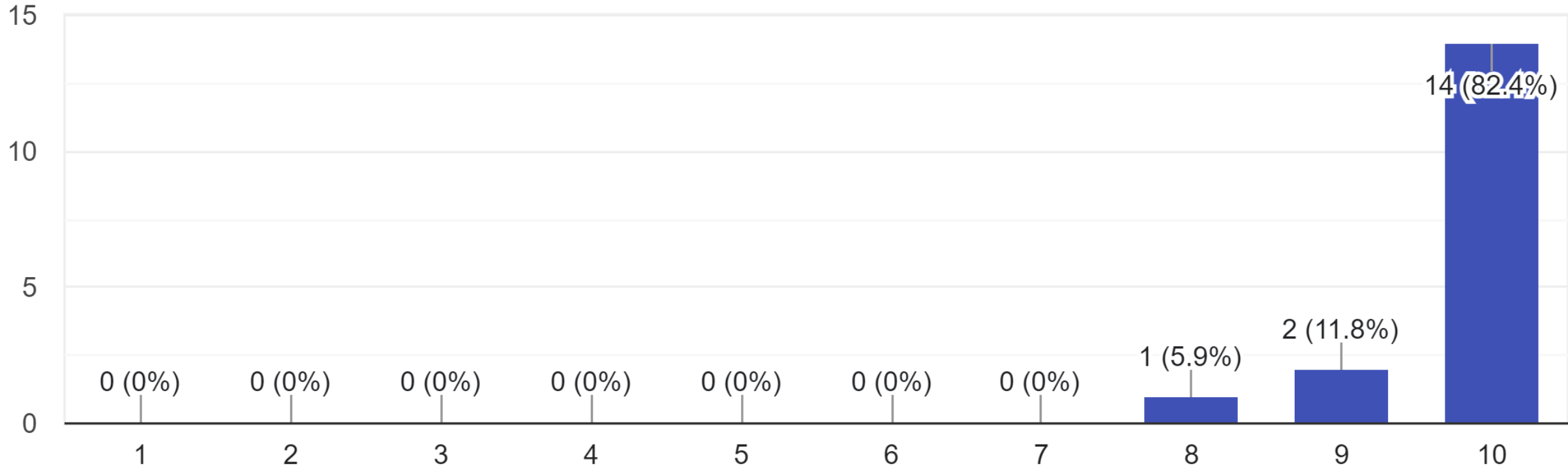
17 件の回答

〇最初は仲良くできるのか不安だったが、
　最終日には寂しさを感じるほど仲良くなれたのでとても良かった。
〇始まった頃には予想していなかったほど仲良くなれて嬉しかったです！
　みんな優しくて気が合う人達でした。
〇素晴らしい仲間と出会えて最高の思い出になりました。
〇皆さんそれぞれ好きなことがあって、話し方も違くて、8人皆と一対一で話すことができて楽しかったです。個人的に関係はとても良かった と思います。
〇みんなが大好きです！
〇4人で少ないからこそ仲を深めることができた
〇みんな大好きです。
〇とてもいい子ばかりで、ずっと大切にしていきたいと思う
〇私はあまり人との共同生活が得意ではないことが分かり、自分の中での悩みとかは10日間の中でもいろいろとあったのですが、第3タームのみんなが本当に優しくて温かい子ばかりだったのがすごくありがたかった。みんなに出会えて幸せでした。
〇とても仲良く過ごせた。全然話し足りない。
〇今後も交流していきたいと思った。
〇雰囲気が似合っている感じがした。私はすごく居心地がよかった。
〇自分と同じ価値観を持った人が集まったからか、滞在していて苦痛に感じなかった。これはほんとに良かったし、嬉しかった。

<u>生涯の友と出会う町。これも「もうひとつのふるさと」かもしれません。</u>

伊予市ワーホリ全体の満足度は？

17 件の回答



最後に、ワーホリが終わってみた伊予市の感想を教えてください。

17 件の回答

〇海で遊べてのんびりできて、人の数もちょうど良くてすごく好感が持てる町！
〇このワーホリで伊予市のことを知り、知識を得ずに行った場所だったが、帰る頃には伊予市のことをとても好きになれた。
〇地元の人の地元愛の強い街で、とても素敵だなと思った
〇新しい故郷というか、帰りたくなる場所が出来ました。
気候も人も温かく、ゆったりと時間が流れている感じがしました。
〇参加する前は伊予市のことを知らなかったけれど、ワーホリという形で訪れることで、伊予市を観光客として外から見るのではなく、地元の人として内から見ることが少しだけ出来たのではないかなと思います。
〇伊予市全体で伊予市をもっと盛り上げるにはどうすればよいかと考えてらっしゃるのがとても伝わってきました。人と人の繋がりというものをとても大切にされており協力体制が他の地域と比べ整っている印象を受けました。
〇人がとても暖かかったです。
〇伊予市にもう一度行きたいと思えるほど素敵な日々を過ごすことができました。
〇ワーホリの募集ページに書いてあった通り、自分の人生を選択して生きる人に何人も会うことができました。夕日ももちろん素敵だったし、都会よりお店は少ないけど全然生活できるし、仕事が終わったら海や習い事に行く人もいるし、時間があるから自分次第でどうにでも生きられる場所だと思いました。一日中仕事をしてお金を得る人もいるけれど、人は何かをしなくてはいけない訳では無いんだなと思いました。

つづく

最後に、ワーホリが終わってみた伊予市の感想を教えてください。

17 件の回答

〇人がたくさんいる東京よりも人とじっくり話せました。田舎という言葉だけで説明したくない町です。
〇景色が綺麗で、関わる人全員あたたかくて、故郷を活性化させようと思っている私の中では、伊予市をロールモデルとしながら活動していきたいと思うくらいに素敵な街でした。
〇こんなに素敵な場所を知ることができて本当に良かったです。絶対来たらみんな住みたくなる！！
〇想像以上に景色が素晴らしい街だと思う。本当にこの景色が大好きになった。
〇地域活性化の取り組みを行っている人が多く、その点でも良い街だと思った。人の繋がりが広く深く、素敵だと思った。
〇名残惜しい。必ずまた双海に来ます！
〇やっぱりこの町の海が大好きで、この町の人の温かさが大好きです。本当は離れたくないです。絶対にまた来ます。何度でもまた戻ってきたいと思う町です。今回は本当にありがとうございました。
〇より伊予市が好きになったし、もっと知りたくなった。仕事は伊予市に行っていたが、私は双海地区の雰囲気のほうがなにかほっとする安心感があった。おいしいもの、美しい景色、そしてあたたかいみなさんに囲まれて幸せだった。
〇人と人の繋がりが深い、美味しい飲食店が多い、地元の人がやさしい、少し交通の便が悪い、海がとてもきれい、星が綺麗に見える
〇自然の美しさに感動したことはもちろん、人に恵まれたし、伊予市にはその環境が揃っていると感じました。価値観が似ている人に出会える場所だと思います。
〇人の優しさと自然に癒されたので、また来ようと思う！